

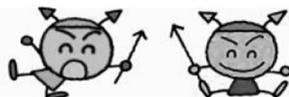


ほけんだより

12月号

園庭を吹き抜ける風も冷たくなり、気温の変化が厳しく寒い日も多くなります。インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症の流行する時期です。こまめなうがいや手洗いを心がけましょう。

ウイルス性胃腸炎に注意!

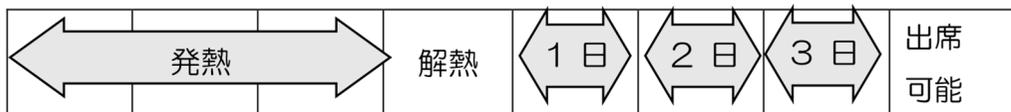


ノロウイルス・ロタウイルス・アデノウイルスなどの感染によって突然の嘔吐と下痢、腹痛の症状があらわれ発熱する場合があります。嘔吐や下痢で体内の水分が失われ、脱水症状などになると危険です。何よりもまず水分補給を心がけ、安静にして過ごしましょう。

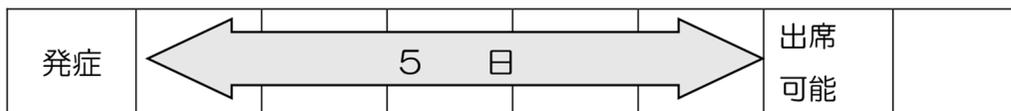
・ ・ インフルエンザ後の登園について ・ ・

学校保健安全法により、インフルエンザによる出席停止期間は、**発症日**（発熱などの症状が始まった日）を0日と数え、**5日を経過し、かつ解熱した後3日（幼児）を経過するまで**、となっています。

『解熱した後3日を経過するまで』の考え方



『発症した後5日の経過』の考え方



知っておこう

おう吐物の処理



冬場に流行するウイルス性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスなどによって感染します。吐物や便にはウイルスが含まれています。家庭でも二次感染予防のために、おう吐物の処理にご留意ください。

- ① 窓を開けて使い捨ての手袋とマスクを着け、使い捨ての布などでおう吐物を周辺からふきとる。
- ② 次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)を薄めた消毒液で、おう吐物のあった部分をふき、消毒液は十分に水拭きします。汚れた物はすべてポリ袋に入れ、それらは、消毒液をかけてから密封して捨てる。
- ③ おう吐物の付いた服は、85℃以上の熱湯に1分間つけてから洗濯するか、塩素系漂白剤を少量入れて洗濯する。
- ④ さらに乾燥機にかけたり、アイロンをかけたりすると熱に弱いノロウイルスは死滅しやすい。